

特別支援教育実践マニュアル



<No.24>

～ 「交流及び共同学習」で学校が変わる！ ～

○将来の共生社会を担う子供たちの心をそだてる「交流及び共同学習」

学校では様々な子供たちが学んでいます。障がいの有無にかかわらず、どの子どもも様々な特性をもっていて、一人一人違います。その多様性を認め、尊重する雰囲気学校全体に広がれば、共に支え合いながら生きる共生社会の形成につながる学校づくりができるでしょう。

「交流及び共同学習」では、障がいのある人とない人がふれ合い、共に活動し、学び合う体験の中、多様性に気づき、相互理解を深め、自分から考えて行動する力が育まれる機会を提供します。

校長先生のリーダーシップのもと、学校全体で組織的に取組み、共生社会の形成につながる学校づくりを推進していきましょう！！

☆ 実践している学校に聞きました。

Q 交流及び共同学習を行うにあたって意識していることは？

教職員への周知

- 年度初めの職員会議で計画を出し、交流のねらいと、交流する学級や活動内容、教科等を明確にして全職員で共通理解を図っている。
- 特別支援学級担任から「特別支援学級の子供たちの様子や協力してほしいこと」などを職員向けに「〇〇便り」として定期的に発行している。

子供たちへの周知

- 学年集会で特別支援学級の子供たちのことを紹介した。
「一人一人はどのような事が得意で、どのような事を苦手としていて、どんな努力をしているのかなど」

南小学校の取組

教職員

- 交流児童がいない学級の担任も特別支援学級の子供たちへの声かけが増え、成長した点などを報告してくれるようになった。
- 特別支援教育への関心が高まり、ユニバーサルデザインの視点を意識した授業づくりや教室環境づくりに取り組む教員が増えた。

子供たち

- 進んで特別支援学級に遊びに来たり、掃除に来たりする子供たちが増え、困っている友だちにもやさしい声かけをする様子が多く見られるようになってきた。



浦安市の小学校・中学校の校内の交流及び共同学習の様子

① 休み時間の交流

ひまわり学級と3年2組の魚つりイベント
(北部小ホームページより)

主な活動内容(例)

- 特別支援学級の子供たちを交流学級の集団の遊びに誘う
- 通常の学級の子供たちが特別支援学級の教室へ行き、特別支援学級の子供たちの遊びに合流する

期待できる子供たちの姿 (通常の学級)

- ☆相手の気持ちを考えて行動する力が向上する
- ☆思いやりの気持ちが育つ



期待できる子供たちの姿 (特別支援学級)

- 友だちとの関わり方を学ぶ
- いろいろな遊びを体験することができる

② 学校行事などでの交流

合唱祭:有志によるコーラス隊の手話練習
(見明川中ホームページより)

主な活動内容(例)

- 全校での活動や行事では、交流学級に入っ
て参加する
- (遠足、運動会、修学旅行、体育祭、合唱祭、
クラブ活動、委員会活動、全校集会など)



期待できる子供たちの姿

- ☆学年の仲間の一人であると認識する(通常の学級)
- ☆相手を認め合う気持ちが育つ(通常の学級)
- 学年の仲間の一人であると自覚する(特別支援学級)
- 大集団の中でのソーシャルスキルを実践する
(特別支援学級)

③ 給食交流

(日の出中ホームページより)

主な活動内容(例)

- 交流学級の子供たちが誘いに行く(毎日/週~日)
- 通常の学級の子供たちが、交代で特別支援学級
へ行く

期待できる子供たちの姿 (特別支援学級)

- 好き嫌いを克服したり、マナーを学んだり
する



期待できる子供たちの姿 (通常の学級)

- ☆学級の仲間の一人である
と認識する
- ☆食べるスピードや相手を
意識した会話を学ぶ

④清掃活動の交流

(入船小のホームページより)

主な活動内容(例)

- 交流学級の清掃班に加わり、一緒に清掃を行う
- 通常の学級の子供たちが特別支援学級の教室の清掃を手伝う

期待できる子供たちの姿 (通常の学級)

☆相手のペースに合わせて活動することを学び、思いやりの気持ちを育む



期待できる子供たちの姿 (特別支援学級)

- 友だちからアドバイスをうけて、きれいに掃除をすることを体験する
- 仲間同士での協力や譲り合いなどの社会性が育つ

⑤授業交流

ペープサート劇：そうくんのさんぽ
(東小ホームページより)

主な活動内容(例)

- 特別支援学級の子供たちは、苦手な教科や自立活動の時間などは、個に合わせた学習を行い、それ以外の教科は、交流学級で学習する
- ※体育や生活科など運動や体験活動の多い授業に参加する子供たちが多い(受け入れ体制を整える)



期待できる子供たちの姿(特別支援学級)

○交流学級の友だちに認められ、安心感や自信をもちながら学習する

期待できる子供たちの姿(通常の学級)

☆互いに認め合う気持ちが育つ
☆視覚化や構造化を図った授業により学習内容の理解が深まる

※通常の学級の先生が、特別支援学級の子供たちに授業を行っている学校もあります！！



通常の学級の担任としてどのようなことに配慮すればよいですか？

保護者に理解や協力をさせていただくには、どのようにしていけばいいのでしょうか？

担任間の情報共有が大切！！

交流の様子や成長の姿を保護者に知らせることで、交流及び共同学習の理解がさらに深まります。



特別支援学級間の交流及び共同学習

市内の特別支援学級間でも、交流及び共同学習が行われています。

小学校では、授業や給食において交流を行っています。中学校では、特別支援学級の生徒が集まり、ボッチャや風船バレーなどのスポーツを通して、交流を行っています。また、「はっぴい発表会」では、複数の学校が合同で発表することもあります。



交流スポーツ大会

他の学校の友だちと話をしたり、一緒に練習したりして、仲良くなりました。楽しかったです。



はっぴい発表会

居住地校における交流及び共同学習

居住地校交流とは、特別支援学校に通う子供たちと、それぞれの居住する地域の小中学校等の子供たちが交流及び共同学習を行うことです。

特別支援学校に通う子供たちにとっては、将来にわたって豊かに暮らしていくために、自分が住んでいる地域の小中学校等の同年代の子供たちと活動を共にし、人間関係を広げていくことが大切です。小中学校等の子供たちにとっては、地域の仲間として関わりながら、共に助け合い、支え合っていくことの大切さを学ぶ機会となります。



高洲北小学校
(県立市川特別支援学校との交流)

毎年交流しているので地域の仲間としての意識が育っています。

毎学期交流を行っているので、自然に関わりが深くなり、和やかで温かい交流ができています。



舞浜小学校
(県立市川特別支援学校との交流)



浦安市教育研究センター
浦安市富岡 1-1-1(富岡小学校内)
381-7961

参考
交流及び共同学習ガイド(文部科学省)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/010/001.htm